

第6回デジタル化検討会 議事メモ

令和7年2月21日(金)

○開会

○県説明、アイスブレイク 13:30～13:40

○第5回検討会で出た意見の改善案の説明 13:40～13:50

資料「重層的支援体制整備事業に係るデジタル化検討会6」により説明

○相談記録 PF 活用デモ 13:50～14:05

○質疑応答 14:05～15:00

・発言者

音声マイニングのように、支援経過の詳細記録について、逐語録的に残せるようなものはあるか。

・ファシリテーター

逐語録的なものは想定していないが、音声マイニングの連携は次回に考えておりまたお願いしたい。

・発言者

エコマップはBと思うが、印刷だとカラーが難しいからCかと思ったが、BとC両方できるのはどうか。

・ファシリテーター

印刷とディスプレイの両方を見据えながら考えていきたい。

・ファシリテーター

他にもファイルを添付したいことがあると思うので、逐語録などは、ファイルとして添付できるのであればよいと思う。

・県

添付した音声データをAI相談パートナーで文字起こしできたらいい。第8回の検討会でまた提案や議論ができれば。

・発言者

ジェノグラムが一番見慣れているのは A なのでそれが良い。イベント設定について、イベント名や日付などの入力も必要最小限や自動にしていければ良いと思った。

・ 発言者

特に質問ないが、ジェノグラムは A がいいかなと思った。色は見間違えるかもしれない。

・ 発言者

ジェノグラムは A が見慣れている。アラートについてはチェックしないと消えてしまうか。

・ ファシリテーター

今の想定では、逆にチェックしないと消えない。

・ 発言者

外の建物に行って会議するとインターネットも使えず、ホワイトボードに書いて写真に撮って後でまとめることをしている。写真データを入れ込められればと思った。支援経過のところに、写真が入れられると。

・ ファシリテーター

支援経過に現地の写真を入れられることを考えている。

・ 発言者

ジェノグラムについて、複雑な世帯でも表現できるかという意見を出したが、入り組んでいても対応できるか。

・ ファシリテーター

できると考えている。

・ 発言者

支援会議の段階で本人の同意はどこに表示できるか。

・ ファシリテーター

同意の表示は今のところ検討中。

・ 発言者

支援会議もあれば重層的支援会議の場合もある。「重層的支援会議」の書き方もできるの

か。そう表示されれば同意のある会議とわかる。

・ファシリテーター

明示的に確認できたいというニーズと理解できたので検討したい。

・発言者

イベント登録について、デフォルトで何かが入力されていると良いと思った。アラートについてはピンを押すと上に表示されるか。その方がありがたい。

・ファシリテーター

ピン留めで上に表示する想定。

・発言者

重層的支援会議そのものはまだやっていないが、指摘はなるほどと思った。

・発言者

発言者の意見に乗っかる形だが、(同意ありの)重層的支援会議、(同意なしの)支援会議、(多機関協働事業者以外が主催する)支援会議(ex 地域ケア会議、支援調整会議等)で分かると嬉しい。

・発言者

ジェノグラムは慣れも視覚的にも A が望ましいが、BC のような示し方もあるのだと思った。相談機関は予算が厳しいところもあるので PC 上では B 優位だがカラー印刷は厳しいかも。C は初見ではどうかと思ったが慣れれば大丈夫かもしれない。世帯員の時系列変化はどこかで見られるのか(エコマップの時系列変化は見られるが)。何年か経って同居の状況が変わることも。

イベントエリアとメモエリアのエリア分けがわかりやすい。管理者としても業務量や進捗が把握しやすい。イベント登録方法は、3 種類のいずれかになるのか。併用想定か。

アラートのタイミングの前後が選べるのは、細やかな設定。確かに、と思った。アラート消せるのはよい。終わったらどんどん消したい。あまり達成感が得られにくい相談業務だが、アラートを消すことで日々の小さな達成感につながるかもと期待。

・発言者

メモエリアについて、終わったらゴミ箱じゃなくて、ピン留めできると良いと思った。ジェノグラムへの入力や編集が見たかった。

・ 発言者

ジェノグラムは A が見やすい。BC それぞれ良いところ悪いところある。○や□は本人は◎にできるか。

・ ファシリテーター

A だと 10 歳の孫が本人で◎にしている。

・ 発言者

薄くて見えなかった。生活保護などの公的給付はイベントが同じに日に被ってたくさん出てきてしまう。

・ ファシリテーター

生保等は自動ではなくケースごとにさせていただいたところ。

・ 発言者

承知した。チェックがいっぱいになるとそれはそれで大変。

・ 発言者

ジェノグラムは業界全体での統一ルールに従って作成・表示されるものなので、このシステムの独自ルールができると混乱しないか。

・ 発言者

多機関協働ならではの難しさは、ターゲットを誰にするのかという点やターゲットを誰にするかでジェノグラムの広がりにも影響するので、やり方をまとめる必要があると思った。P16 について、赤字の想定課題はシステムを使うことで簡単になる部分と、そうでない部分が混在していると思う。

目や耳以外にホワイトボードに書いて写真を残すという身体で覚える部分がある。機械は動かして楽になることと実際に鍛えて身に着ける能力は違うところもある。写真を取り込む機能は使えると思った。

・ ファシリテーター

検討会を通じても、相談業務は単に便利にすればいいだけではなく、本当の意味での支援の効率を上げることにつなげていければと思った。
ジェノグラムは改めて確認してブラッシュアップいきたい。

・ 発言者

子どもの虹情報研修センターがジェノグラムの描き方を詳しく資料化している。医療・児童・介護など分野により多少描き方が異なることもある。

・ 発言者

ジェノグラムは A の方がわかりやすい。写真の添付もひとつにまとまっていると良いので検討いただきたい。ケース管理は使いながらになっていくかと思った。

・ 発言者

参集での会議で、参加者はそれぞれパソコンを持参し、情報共有しながら話し合うことを想定しているのか。 支援調整会議を実施している会議室は Wi-Fi がなく、当市では難しい状況。また、会議中に新たに追加になった情報の入力、多機関協働事業者（主催者）が入力することを想定されているか。

・ ファシリテーター

多機関が PC 持参してプロジェクターを想定しているので、印刷になってしまうかもしれない。メインは多機関だが、他の方も自分で入力是可以る。

・ 発言者

余談だが、冒頭に紹介のあった県外の重層実施自治体への操作デモ体験会について、通知を受けた他県の仕事仲間から「すごく興味がある」と連絡があった。特に世帯管理に着目されているよう。

・ 発言者

中核ではどのように活用していけるかが気になっている。自分たちは他の機関に出向くことの方が多い。

世帯管理などはだいぶ良いと思っており、音声マイニングと連携などしてこれからも進めていただければ。我々もシステムに慣れていかなければならないと思った。

○閉会（検討会終了）